第１号議案　令和４年度事業報告及び収支決算承認の件

令和４年度事業報告

新型コロナウイルス感染症の影響は収まりつつあるが、令和４年度においては、これまでと同様に、度々訪れる感染の波の影響で、イベントや交流事業など充分な活動は出来なかった。

公益目的事業の実施

主要事業である「タックスフェスタ」や「七番神輿」は規模を縮小しての開催、また支部が行う地域との共催事業も中止が多かった。そのような状況にあっても、担当する役員があらゆる方向で検討を重ね、時期をずらして代わりの事業を実施する等、ウィズコロナの対応に努め、当初の計画により近い形で地域貢献活動を遂行することができた。

特に、青年部会活動の柱である「租税教室」は、独自の参加型カリキュラムを確立し、１１月に開催された全国青年の集いにおいて最優秀賞を受賞した。長年取り組んできた青年部会の活動が、全国から評価された。

また、企業支援の一環でもある研修会は、インボイス制度をはじめとする制度の改正に伴う説明会や、働き方改革など企業のニーズが高いセミナーを開催するなど、時代の要請に応えた研修会開催の確保に努めた。

組織運営と財政基盤

会員増強への取り組みは、役員や保険会社による積極的な加入勧奨の効果もあり、会員数は４年ぶりに増加に転じた。このことは、令和６年に鹿児島で開催される全国大会に向けた機運が高まったものと思われる。

一方、支部の会員間による交流事業は、令和４年度もコロナ禍の影響が続き、年間を通じ予定通り実施することが難しい状況であった。しかしながら令和５年度に向けては、支部活動が徐々に再開しており、法人会のメリットである会員同士の情報交換の機会が得られやすい環境になりつつある。